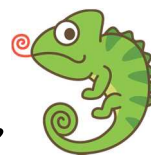


変色蜥蜴～カメレオン～



第1号

令和4年5月24日発行

【題号について】

題号は一学年の学年スローガン「カメレオン」から採用しました。これには生徒達が考えた「その場に応じて姿、色を変化させる「カメレオン」の様に奇跡で集まったメンバーでいろいろな事や、1年生で作る新しい色を見つけていきたい」という思いが込められています。そんな生徒達の思いを大切にしながら、保護者の皆様や学年の生徒達へ、学校の様子等を伝えていきたいと思います。

＝野外学習が行われます＝

中学校入学後初めての旅行的行事です。行事といっても**学習の一貫**で行われるもので、自分たちが生活している**北海道の開拓の歴史**やその**貴重な資料**を元に**中学生目線**で学習します。また、下記の目標を元にこの学習を通し、**中学生として望ましい姿**を目指すものです。なお、当日は**昼食（弁当）の用意をお願いします**。

- ①集団生活を通して**規律ある生活態度**を身につける。
- ②健康安全や公衆道徳の実践や体験を通して、**望ましい社会性**を身に付ける。
- ③互いに**協力し合い、助け合い、集団としての決まりや役割**を学ぶ。
- ④学級・学年の仲間との**友情**を深める。
- ⑤楽しい思い出をつくり、**中学校生活を充実**させる。
- ⑥2年生での**宿泊学習**を成功させるための**基盤**をつくる。

～野外学習に向けて～

各係が中心となって様々な取り組み（キャンペーン）が行われています。

総務係・・・忘れ物Z E R O運動

生活係・・・ベル席達成率 100%チャレンジ

保体係・・・挨拶、思いやりコミュニケーション運動

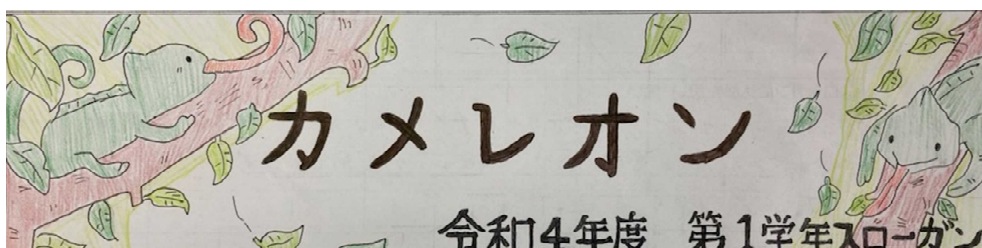
文編係・・・学年・学級旗の作成

神文人（まとめの掲示物を美しく仕上げるために文字を丁寧に書く）運動

美化係・・・美化意識向上のポスター作成
学級向上 BINGO

※どの企画も、各学級の係全員が集まり、生徒達自身が話し合っ考えたものです。もちろん、野外学習に向けてだけでなく、今後の学校生活にも生かせるようにとの意識も含まれています。100%達成目指して **Fight!!**

《学年旗紹介》



スローガン： 3組 鈴木 ゆうり さん デザイン： 3組 千葉 由依 さん

野外学習当日の日程

5/27 (金) 小雨決行

6:00 実施判断

※中止の場合は7:00に保護者メール及びHPで連絡。その場合も**弁当持参で通常登校(給食がありません)** 授業道具…金曜授業(5時間)

7:45 欠席連絡(～8:00)

8:20 係生徒集合完了

(テニスコート側駐車場)

8:30 一般生徒集合完了(//)

8:40 出発集会

8:55 バス乗車

9:00 学校出発

9:30 開拓の村到着、学年写真撮影

9:40 開拓の村集会

9:50 班研修(～11:20)

11:20 学級写真撮影

11:30 昼食

12:25 博物館へ移動

13:00 班研修(～14:00)

14:05 解散集会

14:30 バス乗車・出発

15:00 学校到着・下校

最近気になる言葉

入学して以来、生徒達もずいぶんと中学校生活や新しい友人達とのふれあいに慣れてきました。そのせいでしょうか、教室などで生徒同士の言葉のやりとりがとても気になります。それはほとんど口癖くちぐせのように飛び交う「キモイ」「死ね」という言葉。これは**相手の存在を否定**する言葉です。つまり「いじめ」の一部なのです。あなた方はそれに気付いていますか? 「友達同士だから冗談ってわかっているからいい」と思う人もいるかも知れませんが、聞いている方としてはとてもいやな気分になります。中学生期、つまり一般的に言われる思春期は、大人に成長していく過程ですが、心や体が大きく変化するため自分が思っている以上にとても不安定な時期でもあります。いままで冗談で通じていたはずのことが、ある日突然冗談では通じなくなってしまうということが起きます。ましてや「キモイ」「死ね」等の**人の存在を否定する言葉**であれば当然の事、**相手の心を深く大きく傷つけてしまう**のです。思春期に入った君達の心はとても不安定なのです。一度出してしまったら決して引っ込めることができないのが言葉です。言葉は自分で考える以上に相手を簡単に傷つけ、「そんなつもりはなかった」と思っても気がつけば「いじめになっていた」と言うことも多々あるのです。

先日「インターネットを安全に使うために」という内容での講演会がありました。その時に講師から出た「携帯やスマホ、タブレットを持っている人」という問いに対し、多くの生徒たちの手が挙がりました。つまり、ほとんどの生徒達はLINEやメールで自分以外の人とのやりとりができるということです。普段口癖くちぐせのように使っている「**他人を否定する言葉**」がSNSの利用でも使われているとしたら…。顔を合わせた会話相手の表情を見ることで、ある程度本気なのか冗談なのかを判断することができます。しかし、顔の見えない文章だけのやりとりである「LINEなどのSNS」はその**言葉だけがストレートに届き**、本来意図いとうとしていることが非常に伝わりづらく、**簡単に相手を傷つける**のです。言葉やSNSなどはとても便利なものです。しかし、ちょっとした使い方の間違いで他人を傷つけたり、いじめに発展させる**恐ろしい凶器**でもあることを認識してほしいのです。あなたたち自身が、取り返しの付かない事に巻き込まれないように、他人の人生を壊してしまうことがないように、いち早く気づいて欲しいのです。そして、もしも心当たりがあるならば、**すぐに改善すべき**です。些細ささいなこと、ほんの小さな事、大げさと思う人がいるかも知れませんが、**人としてとても重要でとても大切なこと**なのです。

重たい話になってしまいましたが、御家庭でもことばの使い方、人との接し方についての御指導に御協力いただけると幸いです。(1学年 生活係より)